

農繁期

レポート

令和元年 7月号

バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者

米風土鳥取の皆さん



暑い天気が始まりいよいよ日南でも水不足になりそうですがポンプも借りてきてあり、準備は出来ています。台風がこなければ今年もよい米ができそうです。



1. 中干し 2. 追い肥

6月に分けつを繰り返した稲の成長を7月で一旦止めます。「中干し」といって田んぼの水を抜き、土の中にたまったガスを抜いて新鮮な空気を入れます。根を地中にめぐらし健全に育てる目的と土が固まることで稲刈りのコンバインが走りやすくなる効果もあります。さらに稲の倒伏予防にもつながる為、非常に重要な作業です。またこの時期は田起こしの時に蒔いた肥料がなくなる頃で、追い肥を行います。1回目の肥料はイネの茎や葉っぱを成長させるため、2回目の追い肥はお米の粒を増やし、大きくすることを目的として、収穫量を確保するために行います。ただし肥料の量が多過ぎるとイネの長さが伸びすぎて倒伏したり、品質の劣化、食味の低下につながります。

7月の作業と稲

<中干し>



<追い肥>



<電柵設置(猪対策)>



<稲の花>

